

Systemwalker GUIによる Solarisサーバ運用管理事例

2017年5月(第1.0版) 富士通株式会社

はじめに



■目的

· Oracle Solarisでは運用管理ソフトウェアを導入することで、運用管理業務の多くの作業を GUIベースで実施できます。

本書では、システムを統合管理できるSystemwalker製品を使用してGUIベースで運用管理する方法について紹介します。

■ 対象読者

- · Oracle Solarisの導入を検討されている方
- · Oracle Solarisの運用管理を簡単にしたい方

■ 本書での表記

・以下の用語は略称を用いて表記する場合があります。

略称	正式名称
Solaris	Oracle Solaris
Systemwalker	FUJITSU Software Systemwalker
Centric Manager	Systemwalker Centric Manager
Operation Manager	Systemwalker Operation Manager

目次



- 1. イントロダクション
- 2. Systemwalkerの概要
- 3. Systemwalkerでできること GUIを使ったかんたん運用の例 -
- 4. 機器の一元管理と監視
- 5. 性能監視
- 6. 障害分析・対応 ログの活用 -
- 7. ジョブスケジュール管理
- 8. ジョブの実行状況表示
- ■付録

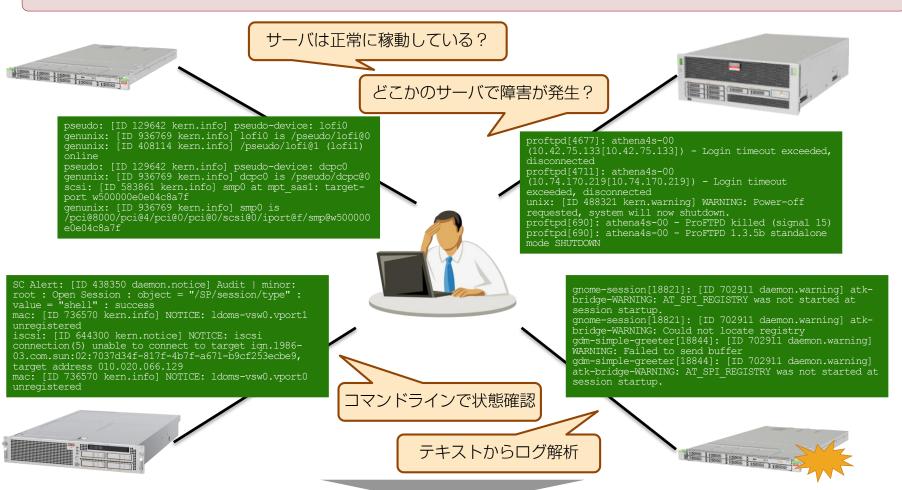


1.イントロダクション

Solarisサーバの運用・管理は敷居が高い?



Solarisサーバの管理というと、コマンドを使った操作や、サーバごとの操作などが必要と思われがちです。



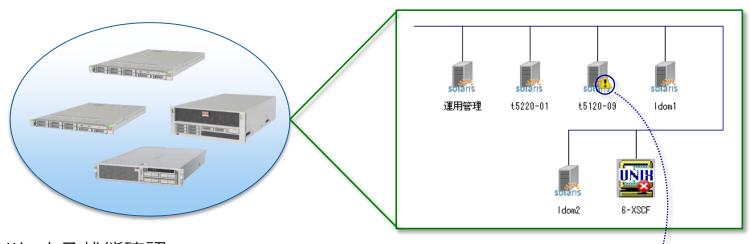
コマンドを熟知している必要がある? サーバごとに操作する必要がある?

SystemwalkerによるSolarisサーバの管理

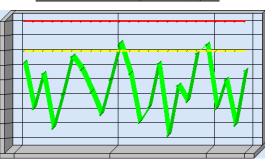


Systemwalkerによって、Solarisサーバを簡単に運用・管理することができます。

サーバの一覧表示・管理



GUIによる状態確認



障害や異常の迅速な確認

重要度	番号	種別	日時 /	メッセージ
8	492	ネットワーク	2016/08/05	UX:MpCNappl: ERROR: 106: SNMPトラップを通知しました.
<u> </u>	512	性能監視	2016/08/09	UX:MpTrfExA: WARNING: 903: 監視項目(Percentage of CPU
8	625	その他	2016/08/22	proftpd[20352]: t5220-01 (10 75.151[10.42.75.151])
<u> </u>	737	性能監視	2016/09/05	UX:MpTrfExA: WARNING: 903:
8	754	性能監視	2016/09/10	UX:MpTrfExA: ERROP-001-

CPUの負荷が増加しています!

- ・高度な知識・スキルなしで操作できます。
- ・IAサーバ(Windows、Linux)も含めた一括管理が可能です。
- ・監視レベルを強化でき、より安定したシステム稼動を実現します。



2.Systemwalkerの概要

Systemwalkerの目的や特長、製品ラインナップ、Solarisサーバの管理 に関連する主な機能について説明します。

Systemwalkerとは



FUJITSU Software Systemwalkerは、富士通が提供する統合運用管理ソフトウェアです。

- 確実かつ安心・安全な運用を支援
 - ·ICT環境の変化に対しても新たなスキルを必要としない運用を実現し、 ICTシステムを継続して利用できます。
- さまざまな側面で有用な製品ラインナップ
 - ・システム運用管理、ICTサービス管理、セキュリティなど、分野別に製品を ラインナップ。必要な製品を選択して導入できます。

Systemwalker製品ラインナップ



システム運用管理

■ライフサイクル管理

- · Systemwalker Centric Manager
- · Systemwalker Live Help
- ■自動運転
 - · Systemwalker Operation Manager
 - ・Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携
- ■性能監視・可視化
 - · Systemwalker Service Quality Coordinator
- ■Oracle監視
 - · Systemwalker for Oracle

ICT サービス管理

- ■インシデント・問題管理
 - · Systemwalker IT Service Management
- ■変更管理
 - · Systemwalker IT Change Manager V14g

■自動化

- · Systemwalker Runbook Automation
- ■クライアント資産管理
 - · Systemwalker Desktop Patrol
- ■構成管理
 - · Systemwalker Software Configuration Manager
- ■ネットワーク監視
 - · Systemwalker Network Manager
 - · Systemwalker Network Assist
 - · Cisco Prime LAN Management Solution

■サイバー攻撃対策

- · Systemwalker Security Control
- ■クライアントセキュリティ管理
 - · Systemwalker Desktop Keeper
- ■シングルサインオン
 - · Systemwalker PKI Manager



本書での説明範囲

•本書では、Solarisサーバの管理でもっともよく使用される「Centric Manager」と「Operation Manager」について説明します。説明対象の製品に応じて、各ページに以下のアイコンを示しています。

セキュリティ

Centric Manager Operation Manager

Systemwalker Centric Manager 1/3



- Centric Managerとは
 - ・「システム運用管理」と「ICT資産管理」を統合し、センター全体の ライフサイクルを管理します。
- 本書で紹介する機能
 - ※ 本書では、「システム運用管理」について紹介します。
 - ■機器の一元管理と監視
 - ■性能監視
 - ■障害分析・対応 ログの活用 -



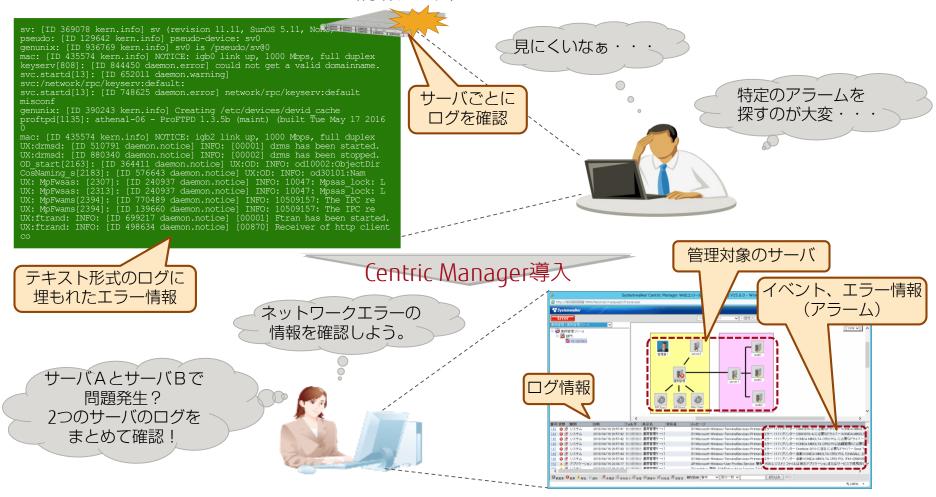
[•] Centric Managerについて詳しくは、下記をご参照ください。 http://www.fujitsu.com/jp/products/software/middleware/business-middleware/systemwalker/products/centricmgr/index.html

Systemwalker Centric Manager 2/3



■メリット

- ・複数のサーバのログをまとめて確認できます。
- ・イベント、エラーごとの情報を確認できます。

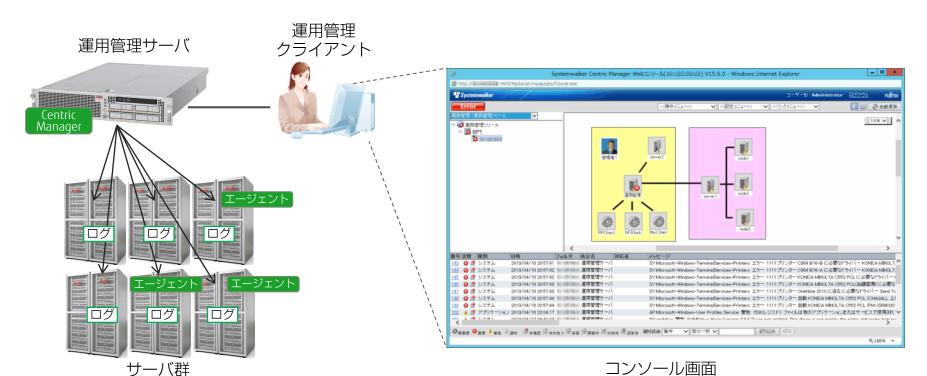


Systemwalker Centric Manager 3/3



■システム構成

- ・運用管理サーバがサーバ群のログを収集します。
- ・運用管理クライアントで、収集された情報を監視します。



- ・Windows、Linux、Solarisなど複数のOSに対応します。
- ・ログ収集だけでなく、サーバやアプリケーションの死活監視もできます。
- ・監視する項目によっては、監視対象のサーバにエージェントをインストールする必要があります。

Systemwalker Operation Manager 1/4 Operation Manager 1/4 Operation Manager 1/4



- Operation Managerとは
 - ・運用管理コンセプトに基づいて、ジョブ(※1)のスケジューリングや監視、 操作など、業務運用をトータルに自動化し、安定稼動と低コスト運用を実現 します。
 - ・サーバの電源投入/切断や、定型バッチ業務/オンライン業務の自動化、 業務の実行状況の監視、実績管理まで効率的に行うことができます。

※1:業務を処理するための個々のシェルスクリプト、実行プログラム、業務手続き言語(ICL)などをジョブと呼びます。

- 本書で説明する機能
 - ■ジョブスケジュール
 - ■ジョブの実行状況表示



[•] Operation Managerについて詳しくは、下記をご参照ください。 http://www.fujitsu.com/jp/products/software/middleware/business-middleware/systemwalker/products/operationmgr/index.html

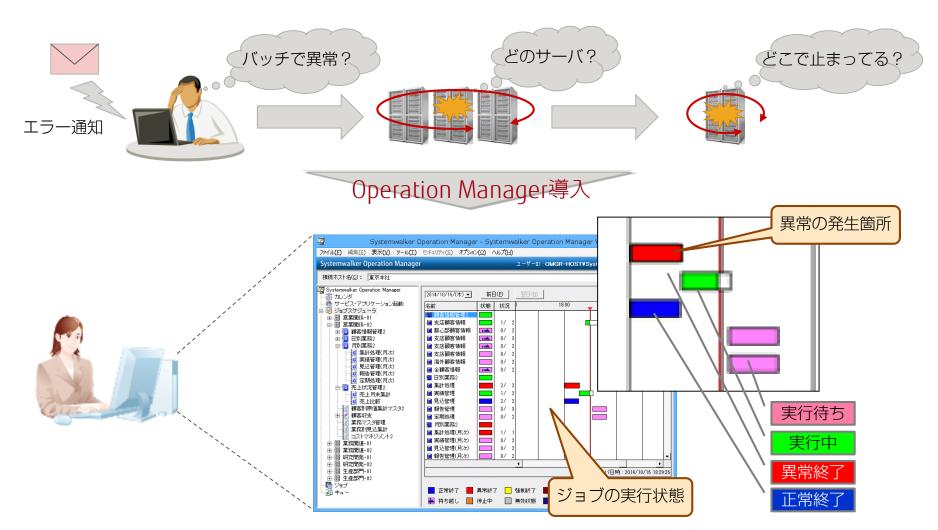
Systemwalker Operation Manager 2/4 Operation Manager 2/4 Operation Manager 2/4



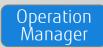


■メリット

·複数のジョブが起動されてもGUI画面からの確認が簡単です。



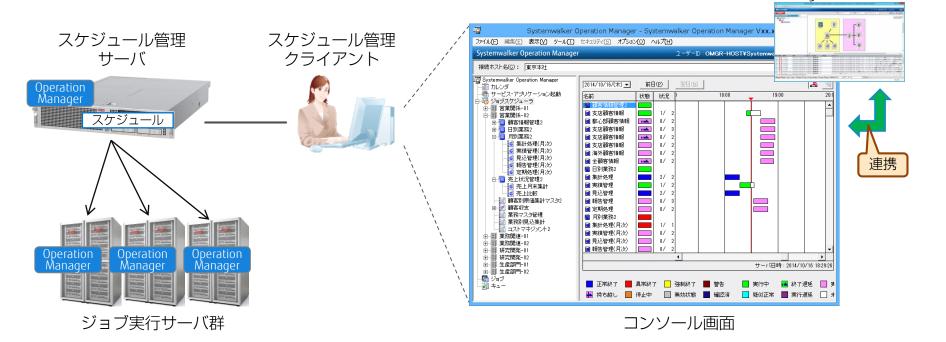
Systemwalker Operation Manager 3/4





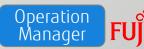
■システム構成

- ・スケジュール管理サーバがジョブの実行サーバを管理します。
- ・スケジュール管理サーバは、ネットワーク経由で実行サーバへジョブの 実行を命令できます。 Centric Managerコンソール画面



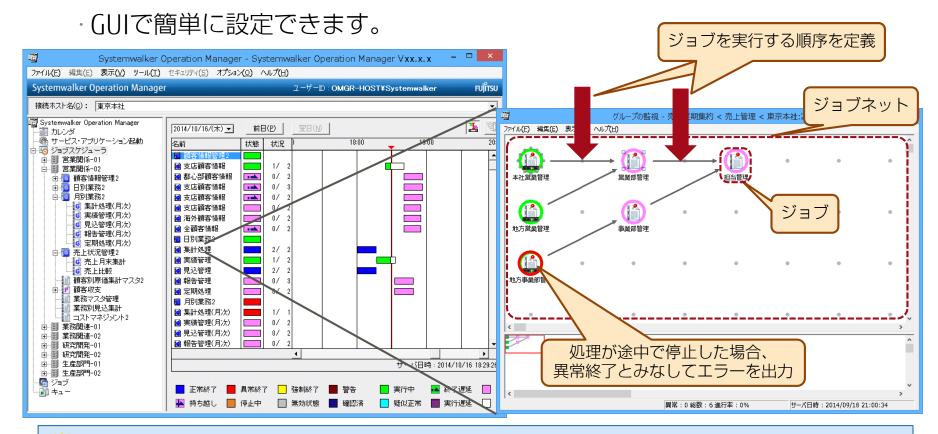
- ・Windows、Linux、Solarisなど複数のOSに対応します。
- ・スケジュール管理サーバと実行対象サーバにOperation Managerを導入します(エージェントはありません) 。
- ・スケジュールは複数のサーバ上で定義できますが、基本的には1台で管理する運用形態を推奨します。
- ・Operation Managerのコンソール画面は、Centric Managerのコンソール画面と連携して開くこともできます。

Systemwalker Operation Manager 4/4





- ・開始時間、周期などをスケジューリングしてジョブを実行できます。
- ・実行順序や待ち合わせも定義できます。



→ Operation Managerでは、右側の画面上の各要素をジョブ、すべてのジョブの組み合わせと起動条件(時刻や起動日など)を含めたものをジョブネットといいます。

15



3.Systemwalkerでできること - GUIを使ったかんたん運用の例 -

Systemwalkerが提供するSolarisサーバの管理機能を使用して実現できることを説明します。

本書で紹介するSystemwalkerの機能

Centric Manager

Operation Manager



機能(大項目)	機能(小項目)	できること
機器の一元管理と監視 Centric Manager	システム全体のログ監視	管理対象のサーバ、ネットワーク、業務アプリケーションの ログを、1つの画面で表示できます。
→「4.機器の一元管理と監視」	稼動中のサーバ情報の取得	管理対象のサーバのインベントリ収集を行い、ハードやソフト情報が参照できます。
性能監視 Centric	CPUの監視	閾値を指定して、CPU使用率を監視できます。
Manager → 「5.性能監視」	メモリの監視	閾値を設定して、メモリの使用率を監視できます。
· 1 2.11760m1/bJ	ディスクの監視	閾値を設定して、ディスクの使用率を監視できます。
障害分析・対応 - ログの活用 - Centric Manager	特定のエラー/イベントを管理者に 通知	特定のエラー/イベントを管理者に様々な手段で即時に通知できます。これにより、迅速な障害対応が可能となります。
→ 「 <u>6.障害分析・対応 - ログの活用 -</u> 」	システム全体の死活監視	ICMP(ping)やSNMPなどの様々なプロトコルを利用して、 管理対象のサーバ、ネットワークなどの死活監視ができます。
	機器の状態確認	障害が発生している機器をすぐに特定できます。
	アラームの重要度別表示切り替え	アラームの種別により、一覧表示を切り替えることができます。重要なアラームを抽出できるので、障害対処速度が向上 します。
	アプリケーションの監視	プロセスを監視することで、各種アプリケーションが正常に動作しているか確認できます。
	《参考》Operation Managerとの連携	Operation Managerで管理するジョブエラーを、Centric Managerで監視できます。
ジョブスケジュール Operation	ジョブネットによるジョブの管理	複数のジョブを1つのジョブネットとして管理します。
管理 Manager	サーバの起動/停止	ジョブネットを使用して、サーバの起動/停止を簡単に実行できます。
→ 「 <u>7.ジョブスケジュール管理</u> 」	休日の設定	休日(すべてのジョブネットを起動しない日)を設定できます。
ジョブの実行状況表示 Operation Manager	ジョブの実行状況の確認	ジョブネットを構成するジョブの実行状況を一覧で表示します。
→ 「 <u>8.ジョブの実行状況表示</u> 」	《参考》ジョブの実行結果詳細の確認	ジョブの実行時間や実行結果などの詳細情報を確認できます。



4.機器の一元管理と監視

管理対象の機器を一元管理し、稼動状況を監視します。

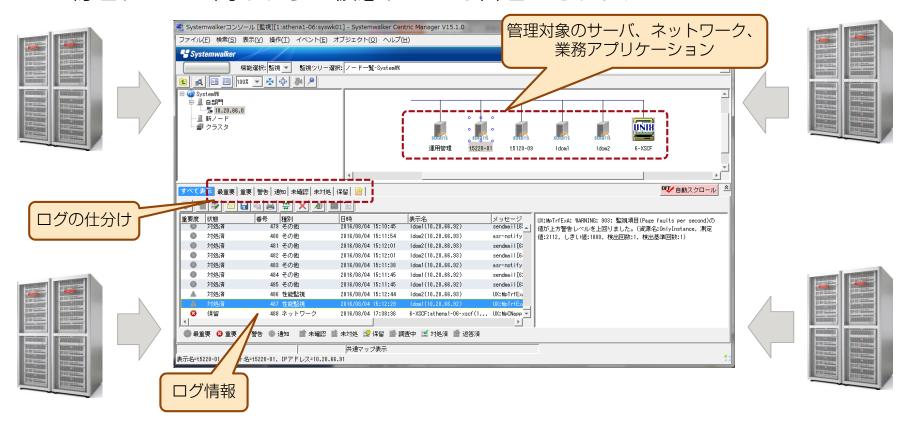
- システム全体のログ監視
- 稼動中のサーバ情報の取得

システム全体のログ監視



管理対象のサーバ、ネットワーク、業務アプリケーションのログを、1つの画面で表示できます。

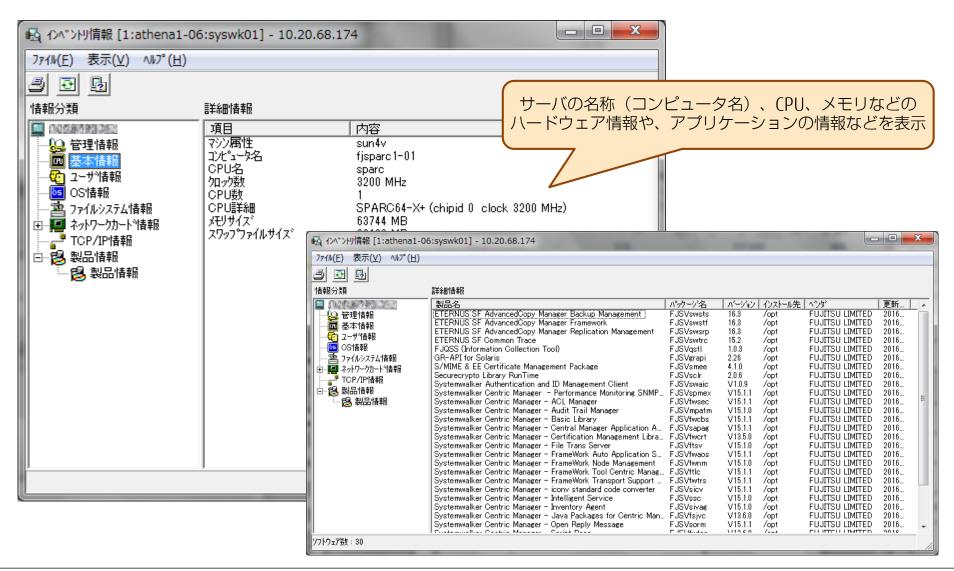
- ·1台の管理端末で、複数のサーバ、ネットワーク、業務アプリケーションの ログを監視できます。
- ・ログに対して処置済/未対処などの仕分けができます。
- ・物理サーバと同じように仮想サーバも管理できます。



稼動中のサーバ情報の取得



管理対象のサーバのインベントリ収集を行い、ハードやソフト情報が参照できます。





5.性能監視

サーバのリソースを監視し、障害を未然に防止します。

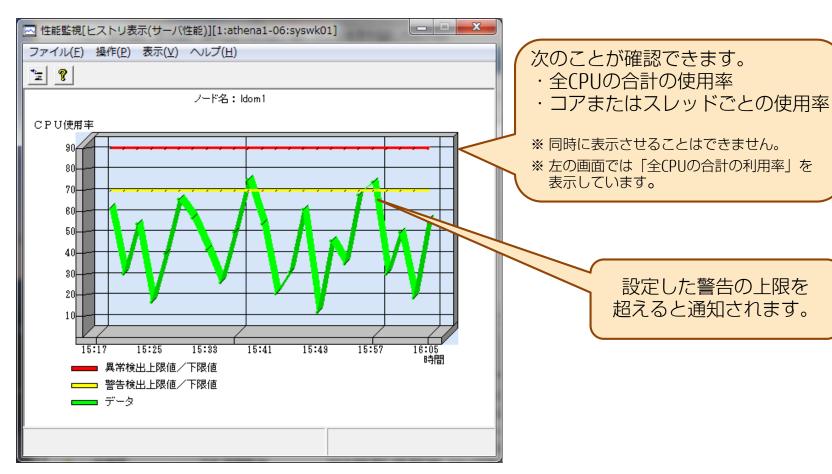
- CPUの監視
- ■メモリの監視
- ■ディスクの監視

CPUの監視



閾値を設定して、CPUの使用率を監視できます。

- ・警告の閾値(上限/下限)と異常の閾値をそれぞれ設定できます。
- ·CPUの使用率が閾値を超えた場合、アラーム(※1)が通知されます。
- ※ 1: アラームは、コンソール画面下部のログ情報で確認できます。

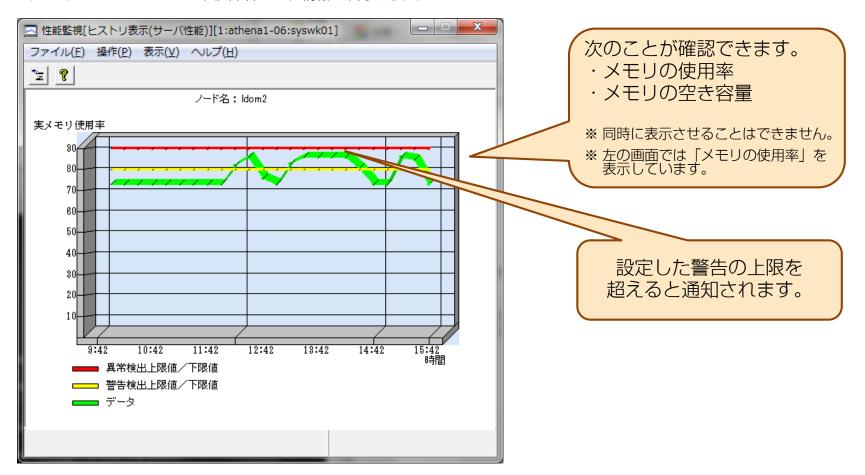


メモリの監視



閾値を設定して、メモリの使用率を監視できます。

- ・警告の閾値(上限/下限)と異常の閾値をそれぞれ設定できます。
- ・メモリの使用率が閾値を超えた場合、アラーム(※1)が通知されます。
- ※ 1: アラームは、コンソール画面下部のログ情報で確認できます



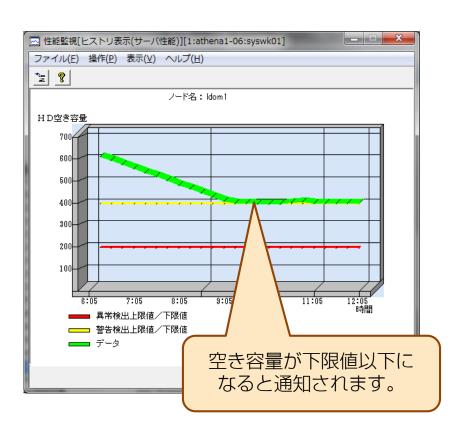
ディスクの監視



閾値を設定して、ディスクの使用率を監視できます。

- ・警告の閾値(上限/下限)と異常の閾値をそれぞれ設定できます。
- ・ディスクの空き容量が閾値を下回った場合、アラーム(※1)が通知されます。

※ 1: アラームは、コンソール画面下部のログ情報で確認できます。







6.障害分析・対応 - ログの活用 -

システム全体のログを活用することで、障害発生箇所の特定や迅速な対応が可能になります。

- 特定のエラー/イベントを管理者に通知
- システム全体の死活監視
- 機器の状態確認
- アラームの重要度別表示切り替え
- アプリケーションの監視
- 《参考》Operation Managerとの連携

特定のエラー/イベントを管理者に通知



重要なエラー/イベントのみメールで通知

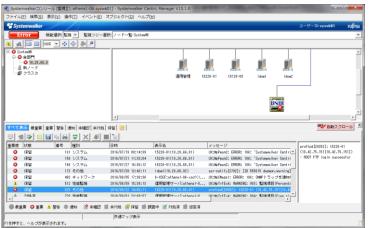


特定のエラー/イベントを管理者に様々な手段で即時に通知できます。これにより、迅速な障害対応が可能となります。

・通知を受け取りたいエラーやベントを設定すると、そのエラーやイベントが

発生したときにメールで通知されます。





Centric Manager

携帯やスマートフォン に通知も可能

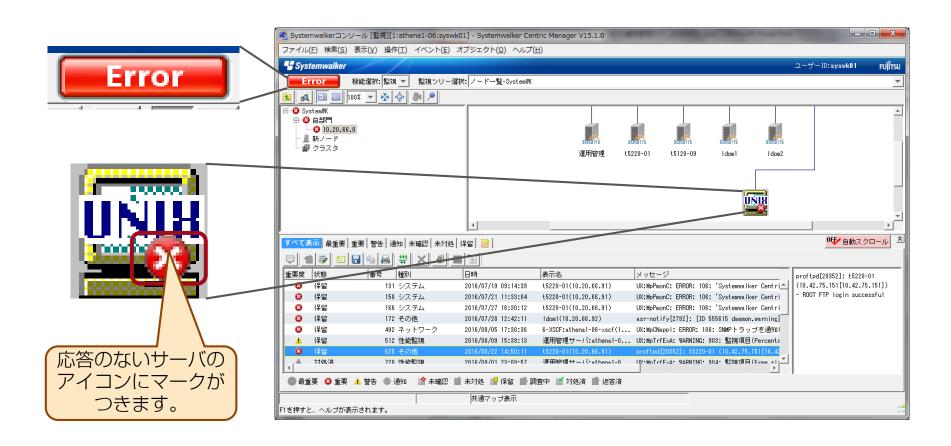


- 通知するエラー/イベントは、自由に設定できます。例:
 - ノード障害(サーバの停止や、ネットワーク障害)
 - メール障害(SMTPポートの応答なし)
 - WEBサービス障害(HTTPポートの応答なし)
 - ディスク容量の枯渇
 - 夜間バッチの正常終了/異常終了
 - 定期バックアップの正常終了/異常終了

システム全体の死活監視



ICMP (ping) やSNMPなどの様々なプロトコルを利用して、管理対象のサーバ、ネットワークなどの死活監視ができます。





•物理/仮想サーバやスイッチ、ルータなどのIPアドレスが設定されている機器を監視できます。

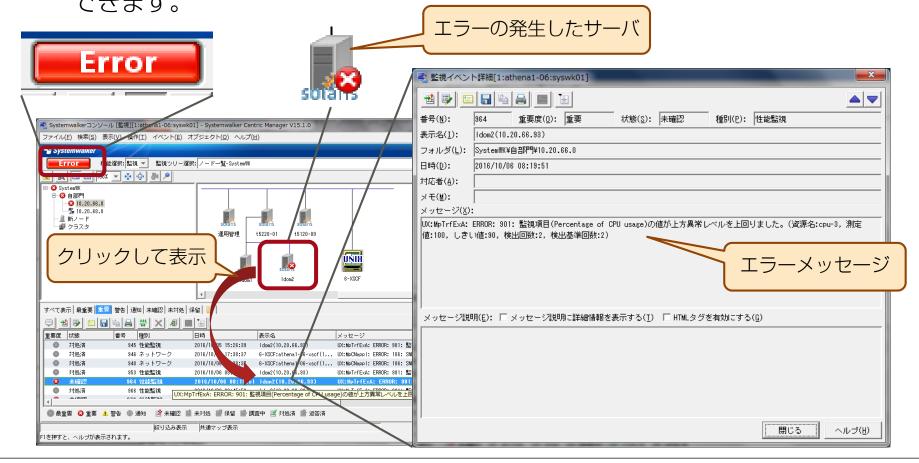
機器の状態確認



障害が発生している機器をすぐに特定できます。

・画面上のマップから、エラーが発生している機器や停止している機器がすぐ分かります。

・クリックするだけで、機器から出力されているエラーメッセージを確認できます。

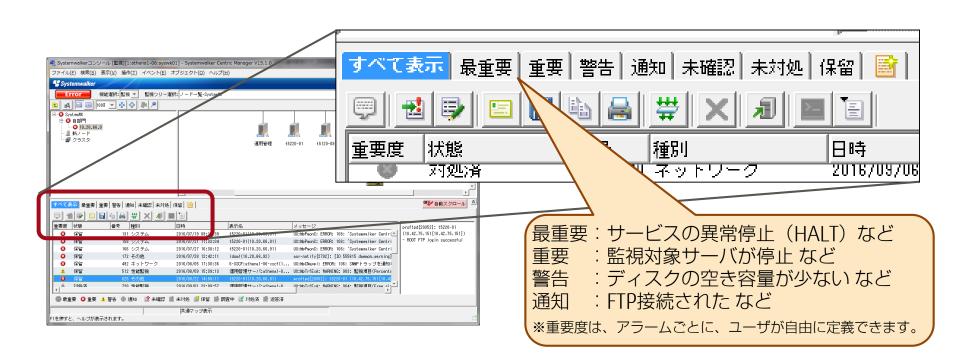


アラームの重要度別表示切り替え



アラームの種別により、一覧表示を切り替えることができます。重要なアラームを抽出できるので、障害対処速度が向上します。

· 監視対象とする必要のないアラームは、フィルタを設定して表示させない ようにすることもできます。



アプリケーションの監視



プロセスを監視することで、各種アプリケーションが正常に動作しているか確認できます。

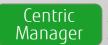
Centric Managerでデフォルトで選択できるプロトコル

プロトコル	ポート番号	対応するアプリケーション	
ICMP		pingによる監視	
SNMP	161(udp)	IPネットワークのネットワーク監視	
HTTP	80(tcp)	Webサーバの監視	
HTTPS	443(tcp)		
TELNET	23(tcp)	telnetサービスの監視	
DNS	53(udp,tcp)	DNSサーバの監視	
POP3	110(tcp)	イールサーバの監治	
SMTP	25(tcp)	メールサーバの監視	
FTP	21(tcp)	FTPサービスの監視	
Database	2000(tcp)	データベースの監視	



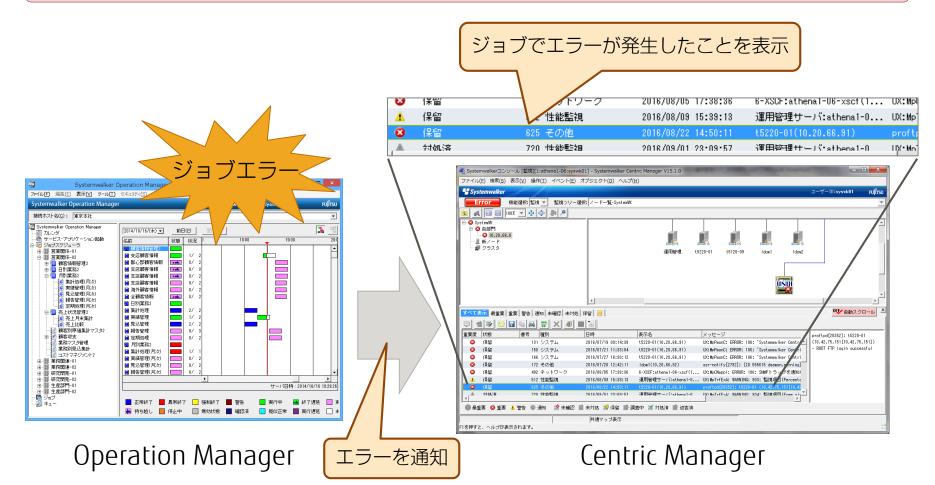
• 監視するポート番号は、自由に追加できます。

《参考》Operation Managerとの連携





Operation Managerで管理するジョブエラーを、Centric Managerで監視できます。



- •サーバ、ネットワーク、業務アプリケーションのほか、ジョブについてもCentric Managerで一括監視することができます。
- ・ジョブのエラーだけでなく、ジョブの未終了監視もできます。



7.ジョブスケジュール管理

複数のジョブを1つのジョブネットとして管理し、容易な保守を可能とします。

また、ジョブネットを使用してサーバの起動/停止を行えます。

- ジョブネットによるジョブの管理
- サーバの起動/停止
- ■休日の設定

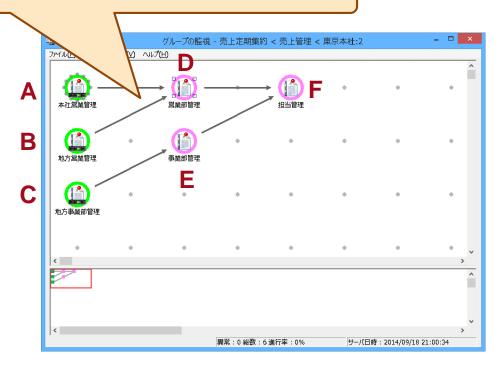
ジョブネットによるジョブの管理



複数のジョブを1つのジョブネットとして管理します。

- ·業務を処理するための個々のシェルスクリプト、実行プログラム、 業務手続き言語(JCL)などを<u>ジョブ</u>と呼びます。
- ・ジョブを正しい順序で実行できます。
- ・簡単にジョブの実行順を把握できます。

ジョブAとジョブBが終了したらジョブDを実行



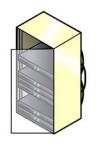
サーバの起動/停止



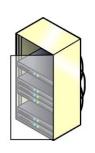
ジョブネットを使用して、サーバの起動/停止を簡単に実行できます。

- ·ジョブネットを使用することにより、サーバの停止/起動の順序を任意に 設定できます。
- ・サーバをまたがるジョブも1つのジョブネットとして管理できます。
- ・サーバの停止/起動順序が決まっているシステムで有効です。

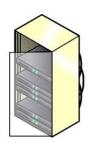
停止順



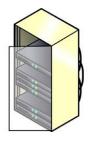
ADサーバ



WEBサーバ



APサーバ



DBサーバ

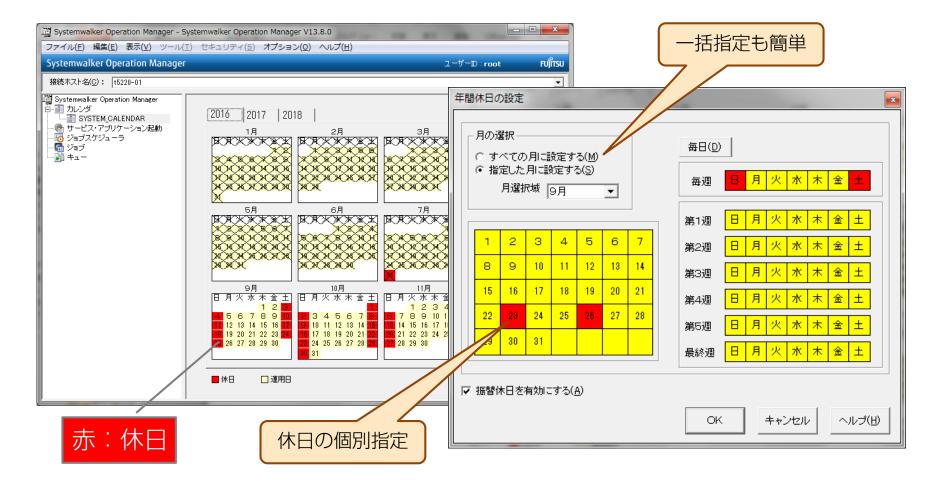
起動順

休日の設定



休日(すべてのジョブネットを起動しない日)を設定できます。

・土日祝やメンテナンス日など、業務システムを停止する日がある場合は、休日を設定することで対応できます。





8.ジョブの実行状況表示

ジョブネットを構成するジョブの実行状況やその詳細情報を 表示します。

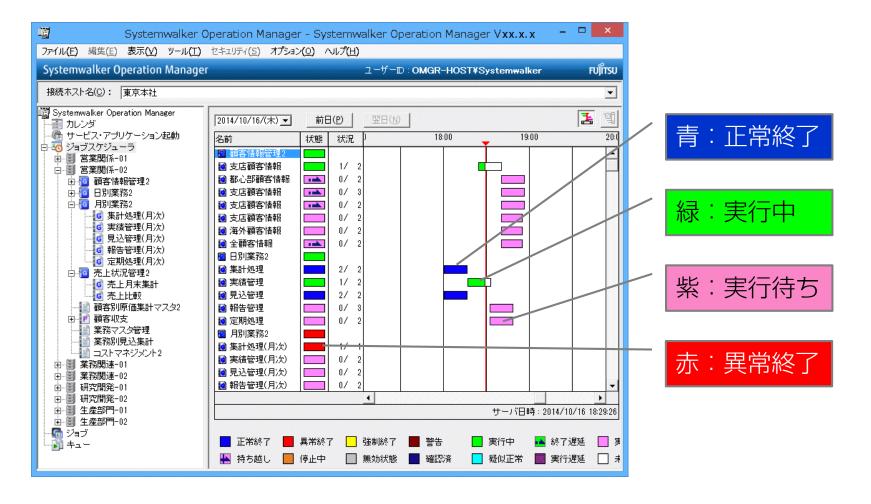
- ジョブの実行状況の確認
- 《参考》ジョブの実行結果詳細の確認

ジョブの実行状況の確認



ジョブネットを構成するジョブの実行状況を一覧で表示します。

・ジョブの実行時間や実行結果をグラフィカルに表示できます。

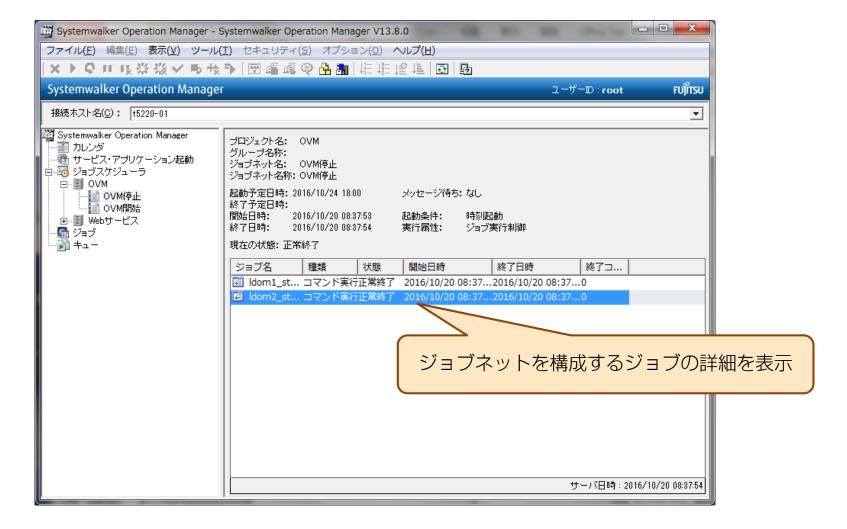


《参考》ジョブの実行結果詳細の確認



ジョブの実行時間や実行結果などの詳細情報を確認できます。

・どのジョブでエラーが発生したか、簡単に把握できます。





付録

関連ドキュメント



Systemwalker Centric Manager

http://www.fujitsu.com/jp/products/software/middleware/business-middleware/systemwalker/products/centricmgr/index.html

Systemwalker Operation Manager

http://www.fujitsu.com/jp/products/software/middleware/business-middleware/systemwalker/products/operationmgr/index.html

『SPARC/Solaris GUI管理ガイド』

http://www.fujitsu.com/jp/sparc-technical/document/proposal/#gui-management

技術情報 Technical Park



・本製品のお問い合わせ

- SPARC/Solarisの構築に役立つドキュメントが満載
 - ハイパーバイザベースの仮想化:
 - THE Oracle VM Server for SPARC AND THE SPARCE OF SPARCE
 - Solarisベースの仮想化 Oracle Solaris ソーン ade Solaris 10
 - ・ 最新ファイルシステム oracle Solaris 11

ZFS (Zettabyte File System)

VM Server for SPARC Oracle Solaris ゾーン ZFS ブリー・カトウェア

・ Solaris 8/9環境をそのままSolaris 10へ: Oracle Solaris Legacy Containers

oracle SolarisにおけるCPUリースMR

今すぐクリック!! (452 KB) (2012年11月)

http://www.fujitsu.com/jp/sparc-technical/

など

改版履歴



版数	更新日時	更新内容
初版	2017年5月	新規作成

使用条件・商標



■ 使用条件

- 著作権・商標権・その他の知的財産権について
 - ・コンテンツ(文書・画像・音声等)は、著作権・商標権・その他の知的財産権で保護されています。本コンテンツは、個人的に使用する範囲でプリントアウトまたはダウンロードできます。ただし、これ以外の利用(ご自分のページへの再利用や他のサーバへのアップロード等)については、当社または権利者の許諾が必要となります。

■ 保証の制限

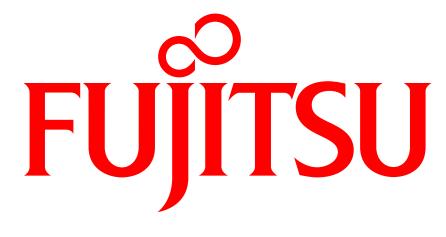
・本コンテンツについて、当社は、その正確性、商品性、ご利用目的への適合性等に関して保証するものではなく、そのご利用により生じた損害について、当社は法律上のいかなる責任も負いかねます。本コンテンツは、予告なく変更・廃止されることがあります。

■輸出または提供

・本製品を輸出又は提供する場合は、外国為替及び外国貿易法及び米国輸出管理関連法規等の規制 をご確認の上、必要な手続きをおとり下さい。

■商標

- ·UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。
- ・SPARC Enterprise、SPARC64、SPARC64 ロゴおよびすべてのSPARC商標は、米国SPARC International, Inc.のライセンスを受けて使用している、同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・その他各種製品名は、各社の製品名称、商標または登録商標です。



shaping tomorrow with you